

京都市長 門川 大作 様

「向島ニュータウンまちづくりビジョン」のまとめにあたっての要望
— 市営住宅再生のための将来計画策定と元向島中学校跡地利用の継続について —

2016年4月に検討が始まった「向島ニュータウンまちづくりビジョン」の推進期間が今年の3月末で終了し、今後は、地域住民の活動に委ねられることになる。

1960年代から1970年代の戦後日本の高度成長期に各都市の周辺部に造られたにニュータウンが経年により、住民の高齢化と建物の老朽化が進み、このまま放置できない状況にあり、京都市も向島ニュータウンや洛西ニュータウン再生のためビジョンの検討が必要になったと判断したからであると考え。

5年にわたる「向島ニュータウンまちづくりビジョン」検討・推進の期間中、多くのプランが立てられ試行されてきた。しかし、向島ニュータウンの住宅の6割強を占める戸数約4,100戸、人口約10,000人の「市営住宅の再生」と高齢化し独居世帯が増加する「コミュニティの再生」につながる住民の意見を反映したプランが示されたとは言い難く、その結果、住民の将来への不安が残されたままになっている。

早期に必要なことは、プランに謳われている「魅力のある住宅・住環境づくり」、「にぎわいづくり」などのかけ声ではなく、老朽化し、空き家が増え続ける「高層市営住宅の再生計画」であり、40年前の設備のまま人が住む「市営住宅設備の改修計画」とその実施予算の確保である。

この「向島ニュータウンまちづくりビジョン」の検討は、市としても、老朽化した「市営住宅の将来計画」と「市営住宅設備の改修計画」を示す良い機会であったと思うが、そのための検討とプランが示されなかったことは残念でならない。市が建設した「向島ニュータウン」市営住宅の老朽化を放置せず、早期にその再生計画と住宅設備改修計画を立て、住民に示すべきである。

「向島ニュータウン」の住民の高齢化、独居世帯の増加は、今後さらに加速し、公助だけでは足りず、住民自らの活動により、課題を解決することが必要な状況となることが予測される。その状況に対処するためには、向島ニュータウンの地域住民の共助の仕組みづくりとその活動の場所の確保が不可欠であり、そのプラン作りと具体化を急ぐことが必要である。

一昨年4月に向島秀蓮小中学校が開校し、向島二ノ丸小学校と向島中学校が廃校となった。向島二ノ丸小学校は、あしなが育英会が「京都志塾」として使う予定であり、元向島中学校の跡地は、一昨年7月から、地域住民が集い、活動の場として利用している。

地域住民の活動がなければ市政は成り立たず、市も常々、住民活動の必要性を説いてきた。この度の廃校の跡地利用は、財政事情のため住民活動の場を提供できなかった市にとっても、活動の場を要望してきた住民にとっても大変良いことであり、今後はこの跡地向島ニュータウンのコミュニティ再生のための活動に利用していきたいと考えている。

しかし、市は元向島中学校跡地の地域住民の利用については、あくまで暫定利用であり、将来的には、跡地を売却する活用計画を表明している。市の財政改善のため、この向島中学校の跡地に民間資本による分譲住宅や地域医療施設を建設し、一部を地域住民のための利用施設にする計画である。この計画が実施されれば、運動場や体育館はなくなり、住民が利用できる教室も大幅に縮小される。この住民の要望を無視した、問題の多い、活用計画の再考を強く希望する。

向島ニュータウンに若い世帯を呼びたいという分譲住宅の建設は、向島秀蓮小中学校の開校により、若い世代の入居希望が増加すると予測している。しかし、向島ニュータウンには、既に1,700戸余の分譲住宅があり、この学校には向島ニュータウン以外の地域からも生徒が通い、現在の向島秀蓮小中学校の規模は適正であり、今後35人学級も予定されている。医療福祉施設の建設についても、現在ある地域の中核病院や周辺に数多くある福祉施設との棲み分けの調整ができているのかについても疑問点が多い。

先にも述べたように、市が40年前に建設し、老朽化した向島ニュータウンの市営住宅をどう再生行くのかその画を示すことが先決であり、再生計画も示さず、新しい分譲住宅を建設するというのは、全く無責任の極みである。目先の対応ではなく、将来を見据えた向島ニュータウンの再生計画を立てる必要であり、京都市政の姿勢が問われている。

この度の「向島ニュータウンまちづくりビジョン」のまとめにあたっては、住民の声を十分聴き、住民の意見を反映した将来の「向島ニュータウン」住民の生活の安心と幸せにつながるものであることを切に願うものである。

2021年 3月 1日

NPO 法人向島駅前まちづくり協議会会長 福井 義定
向島二ノ丸学区社会福祉協議会会長 増田 みち子
向島中央公園愛護協力会会長 山崎 洋一